

2022 年秋学期/オクラホマ州立大学 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

クラスは 20 名ほどで、2 クラスに別れる予定でしたが結局最後まで分かれませんでした。午前中はスピーキングの授業、午後はライティングの授業でした。初めは各クラスにつき 1 人の先生でしたが途中から 1 クラスにつき 2 人の先生がついてくださいました。基本的には発表は自発型です。

月から木は午前 9 時から午前 11 時は Listening & Speaking の授業、午後 12 時半から午後 2 時半は Writing & Reading の授業である。金曜日は課外活動と TOEFL のテスト対策などがあつた。課外活動はサファリパークやミュージアム、時にはショッピングなどもあつた。授業の進行具合は比較的ゆっくりでもう少し早く進めても問題はなかつた。

午前と午後でスピーキングクラスとリーディングクラスに分かれていた

プログラムの生徒と他国の生徒合わせて 20 人弱のクラスでした。先生が 4 人おり、交代で授業を受けました。

非常についていきやすいスピードでした。少し難しい単語を使いながら授業をしていましたが、その単語の説明を一つひとつ説明もしてくださつたので、わからなかつたという思つたことはないと思つます。私たちのクラスでは、私たち日本人以外にもサウジアラビアやクウェート、イラン、アフガニスタンなどの国からの留学生もいて様々な国の文化の違いを理解したうえで授業をしてくださつていたので、文化の違いに無理やり合わせる必要や焦りを感じることなく授業に自分たちのペースで取り組むことができたと思つます。

授業は 9 時から 11 時の午前中のクラス、昼休憩を挟んで、12 時半から 2 時半のクラスの 2 クラスありました。前者は主にスピーキングを、後者はライティングを中心に取り組んでいました。クラスにつき二人ずつ担当の先生がついており、一週間のなかで入れ替わりのような体制でした。月曜日から木曜日は通常通りの授業で、金曜日は校外授業という形で、授業に関連したアクティビティをしました。課題は日によって異なりますが、基本的に午前の授業では、提示されたトピックに対して、レコーディングをするものが毎週ありました。午後の授業では、一時期自分たちの留学先での体験をブログにする、トラベルブログというプロジェクトがありました。

対面授業。午前のクラスはスピーキングとリスニング、午後のクラスはリーディングとライティングの授業。

授業では、ペアワークが主で自分の意見を英語で述べたり、一つのテーマに対して意見交換をするかたちでした。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

クラスは時期にもよりますが、最大 18 人ほどでした。日本人が 13 人と多かつたです。留学生の出身国はイラン、サウジアラビア、アフガニスタンでした。

クラスの人数は 19 人くらい。そのうち 14 人が日本人で他の留学生はサウジアラビアやイラン、クウェート、カザフスタン出身の人たちがいた。

日本人 9 割イラン、アフガニスタンなど

日本人 4: 留学生 1 の割合でした。クウェート、イラク、サウジアラビア、カザフスタンなどの国の方がいました。

クラスには、日本人 14 人、サウジアラビア人 1 人、アフガニスタン人 1 人、イラン人 2 人、クウェート人 1 人の合計 19 人が途中までいました。その後徐々に ELI のクラスを卒業する人も今いました。比率的には差は大きかつたと思つますが、最終的には、お互いの文化を尊重しあえる関係を築くことができたと思つます。

クラス人数は日本人含め、約 20 人程で、その半分以上が日本人留学生でした。その他の留学生は、全員がアジア出身の方で、年齢はバラバラでした。その人たちは既に英語は既に流暢に喋れるため、マスターディグリーやアメリカの大学院進学が目的だと話していました。

クラスの人数は合計で20人ほど。コロナによる受け入れの影響もあったのか14人が外大生、外国人生徒はイランなど。

クラス人数は、日本人14人、外国人4人でした。留学生の出身国は、サウジアラビア、イラン、クウェート、アフガニスタンでした。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

日本人以外の生徒が自由に発言するところが一番違うところだと思います。答えが間違おうが誰も気にしないところはとてもいい雰囲気でした。

クラスの雰囲気は日本人はあまり積極的に発言しなかったように見えた。中東系の人たちは結構意思も強くて良く発言していた。

日本人が固まって日本語をよく喋っていたので迷惑でした

雰囲気はとても良く、相手の意見を尊重しつつ、自分の意見を言うことが多かったと感じました。

発言や、意見の主張の仕方に国ごとの違いを感じました。初めは戸惑いましたが、そのような違いは私たちにも良い刺激を与えてくれて、授業に積極的に取り組む源でもありました。長時間の授業のため、集中力が続かない部分も見られました。(眠気が来てしまったりなど)

日本の授業と違う点としては、海外の学生の方々がものすごく授業に積極的で、いいこと悪いこと関わらず自分の意見をしっかりと発言していたことがすごく感心を受けました。授業が全て英語ということもあり、最初の方は中々参加しづらいという気持ちもありましたが、徐々に慣れていき、全員が積極的になれていたと思います。先生方も、僕たちが上手く喋れないことを考慮して、喋りやすい空間を作ってくれていました。

日本人が多かったのも、クラスの雰囲気はあまり外大と変わらなかった。外国人生徒は日本人生徒に比べて発言に積極的だった。

日本とは違い、外国人は積極的にバンバン発言したり、授業内でわからないことはわかるまで先生に聞いていました。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。

歴史的な出来事、特に虐殺についてです。授業で事前に学んでから美術館に行きましたが、写真や文章が多く飾られており、勉強になりました。一生忘れられないと思います。

ネイティブアメリカンやタルサの黒人差別について

オクラホマ州の歴史

オクラホマで以前起きた残酷な差別事件について学びました。とてもショックな内容でしたが、日本にいたら知られなかったことだと感じたため、とても有意義に感じました。

文化や歴史を知る授業です。タルサ人種虐殺やネイティブアメリカンなど月曜日から木曜日までそのトピックについて詳しく学び、金曜日に実際に博物館(美術館)に行って空気を味わうという流れでとても頭に入りやすく印象的でした。

どれも印象的ですが、アメリカの人種、民族問題のトピックが一番しれて良かったと感じています。

過去に現地で起こった人種暴動やネイティブアメリカンの歴史について。

日本とアメリカの文化の違いについて意見交換をしたことが印象に残っています。日本では普通なことが、アメリカ人には失礼に捉えられたり、日本の常識にはないことがアメリカでは許されてしまうことに驚きました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。

無遅刻無欠席を貫くことと一番前で授業を受けることです。私はクラスの中でも話せないほうでしたし、もちろん努力はしましたが、発表することがあまり得意ではなかったのもそれ以外で誠意を示そうと思いました。アメリカでは出席率を重視しないことはもちろん知っていましたが、自分がだらけなように、自己満足でしていました。最終的にその点を評価していただきました。

先生の問いには良くうなずいたり、発言するように努力していた。

現地の友達に授業のことについて聞いたりした

ノートを取る工夫をしていました。すると週末の振り返りの課題がやりやすかったです。

文法が間違っても、ミスを恐れずにできるだけ発言することと、慎重に人の話を聞くことを意識していました。たとえ、他人が言っていることがすべて理解できなくても、聞く姿勢を大事にして相手への敬意を払うことも心掛けていました。

授業が全て英語であるため、集中してしっかり受けていました。また、毎日英語を話す環境におき、また機会がなくても自分から英語を聞いたり、youtube などの動画アプリを使って、毎日聞くようにしていました。

分からない単語があったらメモする。授業中の発言を増やす。

その日の授業内でわからなかった単語をメモして、寮に帰ったときに調べて覚えていました。また、先生が言うフレーズを自分が聞き取れるなかでメモしたり、先生の使う単語やフレーズを真似していました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ルームメイトはいましたか。	ルームメイトはどこの国の人でしたか。
0人(1人)	
1人(7人)	日本、アメリカ

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
徒歩(8人)	0~15分(8人)	大学内のカフェテリア(7人) 自炊(1人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
ベッドフレーム、マットレス、机、椅子。語学学校が用意してくれたもの… 枕、枕カバー、マットレスカバー、ブランケット、バスタオル、ミニタオル	追加のブランケット、食器類、ドライヤー
棚とクローゼット、机、いす、ベッド。現地の先生から枕とブランケットは支給された。	ハンガーやドライヤーなど
枕、シーツ	枕シーツ以外のもの
ベッド、机	身の回りの生活するためのものは全て用意しました。
ベッドとベッドのマット、枕、シーツ、かけ毛布、机、椅子。	ハンガー、ゴミ箱、バスタオル、ドライヤー、ティッシュ、掃除グッズなど。
部屋には、クローゼット、五段ほどのタンス、机、鏡、ベット、ライト、空調がありました。	基本自分が必要なもの、あったらいいものは持参する方がいいと思います。変圧器はいらなかったです。洗濯ネットも複数あつていいと思いました。
ベッド、枕、ブランケット、机、椅子、棚。	ゴミ箱、間接照明、ハンガー。
ベッド、棚、勉強机、椅子	ハンガー、ゴミ箱、食器

寮生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。

外国人が日本人の自分にとってはうるさかった。夜中に騒ぐことはあまりなく逆に驚いた。トイレで号泣する人がいること。

シャワー室は狭くて寒い。トイレは隣の人の足が見える。タオルペーパーはトイレのどこにもあるのでハンカチなどは必要ない。何日もシャワーに入らない人もいた。

壁が薄く横の部屋がうるさい

家電や家具が日本より大きかったり使い方が違ったりして最初は戸惑いました。

キッチンが汚く、他の国の人は自分たちが使ったものに責任をもたない部分がよく見られました。使ったものは置きっぱなしで、洗い物がされていないものが多くありました。

トイレが、足元の部分が空いていたことがびっくりしました。日本のトイレと違い、開放感があるなど感じました。

食品に名前を書かずに置いておくと、フリーフードと勘違いされ、誰かに食べられる可能性が高い。

お風呂はなく、シャワールームだけが設置されていたこと。寮への出入りは、鍵ではなく学生証で認証されること。

寮を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

寮に一人は友達を作っておくこと。

自分の部屋ではスリッパに履き替える。

快適に過ごすために、自分の趣味などは持っていった方がいいと思います。

人への配慮はしっかりとする。ルームメイトでも距離感をしっかり考える。

ルームメイトとしっかり部屋のルールを決めることが大事だと思います。

ルームメイトとルールを決めておく。寮内で友達を作る。共有スペースなどが寮内にあれば、積極的に行って話す機会を作る。

寮のなかでは、多くのひととすれ違うことが多いので積極的に自分から挨拶をすることです。

パソコンは持参しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から接続可能でしたか。	その際に費用はかかりましたか。
はい(8人)	日本から日本のものを持参	ワイヤレスで可能(4人) ケーブルでもワイヤレスでも両方可能(1人) LANケーブルで可能(2人) 不明(1人)	いいえ

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
友達とご飯やカフェ、キリスト教のことは教会に行ったり聖書の勉強と一緒にした。隣の大きい町に行くこともあった。秋学期の授業が開始する前は Welcome Week と言ってたくさんイベントが行われた。そこではフリーでご飯が置いてたり、グッズもあった。	カフェテリアがすごく便利でした。寮の近くに何個もあり、ご飯は基本困らなかったです。バスも便利ですが、9は動かないため、そこが不便でした。
学期の初めは、積極的にイベントに参加した。クラブには所属しなかったが、日本語クラブにたまに顔を出していた。平日は現地の友達の家で遊んだりして、週末は少し遠出することが多かった。	学内では両近くのコンビニの上の階で勉強をしたり、学校近辺なら Aspen Coffee や Stillwater の Downtown へ行き Antique shop でたくさん買い物をした。
基本、イベントは最初の方はありましたが、徐々に参加する頻度は減りました。	学校の近くの本屋や、アンティークショップでよく買い物をしていました。
自由時間はカフェに行って勉強(課題)をしたり、イベントに参加したり、友人と遊んだり、買い物に行きました。	ダウントウンのカフェや古着屋さん、アンティークショップに出掛けていました。
自由時間は、友達と会ったり、サークルやイベントに参加しました。	図書館、キャンパスの近くにあるカフェ。
イベントに参加する	現地の友達と過ごす
初めころはイベントによく参加していました。	図書館や Walmart というスーパーマーケットをよく利用していました。
ジムに行って体を動かしたり、友達と一緒にショッピングをしたり洋画を見たり常に英語に触れていました。	ジムに行って体を動かしたり、友達と一緒にショッピングをしたり洋画を見たり常に英語に触れていました。

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備

飛行機内で快適に過ごすためのグッズの購入、使いそうなフレーズや日本にはない文化の勉強。

アメリカでのマナーや文化がどう違うのかあらかじめ知っておいた。スラングなども調べていた。

英語の勉強

留学前には買い物をしていくための準備をしました。

必要な書類など。

早めにパッキングをして、ダブルチェックをしたらいいと思いました。スーツケースは2個用意すると、帰りの時に荷物が増えるため、便利です。

自分の留学先の気候やどんな場所なのかを調べた。

参考書や単語帳を使って、ある程度の英語の勉強や言い回しを勉強していました。

留学前にしておけばよかったと思う準備

文法を予習しておけばよかったと思う。

もう少し勉強をしていけばよかったなと思いました。

スピーキング

英語の勉強

そこまでなかったです。

日常会話で使えるフレーズなどを覚えること。

日本の英語教育では発音を飛ばしがちなので発音記号をしっかりと学ぶ。文脈からある程度は理解してもらえるが、発音が綺麗な方がスムーズに会話できる。

基礎の英語だけではなく、スラングをもっと勉強しておけばよかったと思います。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの

日本のお菓子や商品

お味噌汁や白ご飯。お菓子や食べ物はプレゼントしやすい。痛み止めなど薬は結構使えた。

自分をケアするものは合う合わないがあるので、持っていった方が安心だと思いました。

日本食、ポット、自分に合った化粧品、化粧水、薬。

インスタントのものはすごく役に立ちました。味噌汁など。

風呂用のビーチサンダル、単語帳、参考書。

日本から持っていく必要のなかったもの

沢山の服。現地でたくさん買うので持って帰るのが大変になる。ドレスや水着も使わなかった。

日本食などは私はあまり食べる機会がなかったので要らなかったかなと思いました。

そんなに多くの靴はいらないです。ノートも多くは持ってこなくていいです。

変圧器。

ロングブーツ。現地の人は普段はかないので少し浮く。

日本から持参すればよかったと思ったもの
電気ポット。お味噌汁やコーヒーを飲むとき良く友達に借りていた。ヘアオイル
調味料(ほんだしなど)
日本食のインスタント。
冬用の服、靴、チェキ
箸、傘
寮の冷房の温度が個人で調節できないので、部屋用の暖かい上着。アメリカでは大きいメッセージカードが主流なので小さいメッセージカード。お箸。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカードは違う会社のものを二枚持っていくことをお勧めします。現金は少しで大丈夫です。留学先の ATM でドル札が引き落としできるタイプのカードだとより便利です。	一枚目のクレジットカードに最初は二十万ほど入れてもらっていました。ある程度使ったら足してもらっていました。最初にもっていった現金は二万円ほどです。
Cash passport や現金	Master card には 40 万くらい、現金は 10 万くらい。現金は手数料もかからないのでお勧めします。
クレジットカード	100 万ほど
クレジットカード 2 枚、現金	クレジットカード: 上限 100 万 現金: 10 万程度
カードは人口座に付き 2 枚。現金も 5 万円ほど換金しました。	クレカ上限 30 万、現金 5 万
現金 300 ドル、クレジットカード 1 枚、プリペイドカード 1 枚。	クレジットカード 上限 10 万、口座に 80 万ほど。
クレジットカードと現金	クレジットカード 100 万円、現金 6 万円

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
寮費は八十万、食費は二十万のミールプランに加入し、学生証で支払っていました。学外ではクレジットカードで支払いました。	テキスト代を使用しなかったのでテキスト代は 0 円。通学費も徒歩のため 0 円です。
ミールプランと寮のお金で 60 万。そのほか食事代や日用の雑費などでおよそ 75 万以上はかかっている。	なし
50 万	なし
100 万弱ほど	徒歩なので 0
ミールプラン 1550 ドル	テキスト代も通学費もお金がかかってないです。
70 万円ほどだったと感じます。食費は、ミールプランというのがあり、それで基本は学校内のカフェテリアは利用できました。	テキスト、通学費用等はありませんでした。
住居費約 30 万、食費 60 万。	テキストはプリントを配る形式だったので、別途に購入する必要はなかった。通学費は徒歩だったので費用はかかっていない。
住居費 50 万円、食費 30 万円	なし

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など

シティカダウンタウンに行っていました。費用は日によります。車がないとどこにも行けないので平日はバスを、週末は車を持っている友達に連れて行ってもらっていました。

Thanks giving には Los Angeles に 3 泊 4 日の旅行をした。飛行機で乗り換えて LA まで行き現地ではほとんどバスで移動した。

フロリダ旅行

サンクスギビングというゴールデンウィークのような大型休暇があったのですが、友達とロスへ行きました。

サンクスギビング期間は、学校にいる生徒はほとんど旅行か実家に帰る人ばかりなので私たちもロサンゼルスへ 3 泊 4 日で旅行に行きました。費用は 10 万~13 万くらいです。

サンクスギビングという 11 月下旬ごろに大きな休みがあり、そこで旅行に行きました。その手配は全て自分たちでしないといけませんでした。行き先によって変わるとは思いますが、僕は LA に行き、飛行機だけで 6、7 万円しました。

サンクスギビングで 1 週間の休みがあったので、カリフォルニアのディズニーに 3 泊した。飛行機 10 万、パークチケット 3 万、ホテル 8 万ほど。

3 日間チケットを手配してロサンゼルスにいきました。費用はおよそ 20 万円でした。

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。

サンクスギビングの旅行では三十万円弱。買い物は十万円は使ったと思います。

20 万くらい

30 万

月 10 万あれば大丈夫だと思います。

服や旅行でたくさん使いました。

月 10 万円あれば、余裕を持って過ごせると思います。

旅行 35 万ほど。日用品など 5 万。

70 万円

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析

元々のリスニング力が壊滅的だったので少しは聞き取れるようになりました。スピーキングもましになりましたが語学力が上がったというよりは、英語を話すときに躊躇することがなくなりました。

2 か月目以降からは英語力が伸びたと実感した。特にリスニング力が一番伸びたと感じる。スピーキングは難しい専門的な話は難しいが、自分の気持ちなど日常的なコミュニケーションや意見などは問題なく話せるようになったと思う。

行く前より少し上がったと感じる

元々コミュニケーション能力には自信がありましたが、それが通用しないことがわかりました。思っているより、怖くなってしまっていた自分がいました。

語学力・コミュニケーション能力的には、留学前よりは少し伸びたと思います。

留学前は自分が言いたいことを自信を持ってハキハキと伝えることが難しかったです。ですが、この経験を通じて、しっかり自信を持って話せるようになったと思います。

リスニングとスピーキング能力は上がったと思う。少人数で話すのは容易だが、大人数のネイティブスピーカー同士の会話に積極的に参加するのはまだ難しい。

自分が知らなかった単語やフレーズに、実際現地の人とはなして大いに語学力が上がったと思います。わからなかったときには、聞き返すことも多かったのですが自分がわかるまで聞いたりしたことでコミュニケーション能力がついたと思います。

留学前の目標とその達成度

外国人の友達を作るという目標は達成しました。英語でも冗談を言えるようになるという目標は達成できませんでした。

日常会話だけでなく国際問題や難しい話ができるようになること。を目標にしていたと思いますがその目標は達成できたのではないと思う。

リスニングが苦手でしたが、現地の友達と過ごす時間が長かったため伸びたと感じた

留学前より明らかに英語力がついたので、もっと人と話す能力がついたような気がするします。

留学前の目標は新しいことにチャレンジして失敗を恐れない。達成度:70%。自分的には英語を話すことに恐怖心が減りました。間違っても伝える努力をすること、自分のわかる範囲内で別の言い方を探し、言いかえることなど工夫しました。食事、宗教のことも馬に乗ることなど多くの新しい体験をしましたが、何事も恐れることなく試してみることが大事だと思いました。

前の目標としては、日常会話は最低限できるようになる目標を立てていました。達成度としては、できるようになったと思います。それに加えて、リスニング力も向上したと思います。

まだまだ自分の英語力が十分でないので、帰ってから勉強が必要だなと感じた。

留学を通しての成長ポイント

英語を話すことに抵抗がなくなった。物事を以前よりもさらに俯瞰して冷静に見ることができるようになった。以前より周囲の目を気にしなくなった。自分の感情を以前よりコントロールできるようになった。いい意味で諦めることができるようになった。

恐れずに挑戦すること、関わっていく人とフレンドリーにできること。

リスニング力

もっと世界が広いことを学べて、学びたい意欲が増したような気がします。

英語を話すときの恐怖心が減ったこと。人と協力すること。自分で自分の管理をすること。

リスニング力と語彙力だと思います。海外ならではの表現などを身に感じることができました。

文化や考え方、食事、人間関係など何においても新しいものに恐れずに挑戦する力。

相手の意見にいままで以上に耳を傾けたり、新しいことに対して何でもやってみようと思えるようになった。異国の地でたくさんの経験をしたからこそ、これまでになかった自信がついたと思います。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化

① 留学前…英語は嫌いではないが自身がなま過ぎて英語を話すのが怖かった。② 留学中…英語を話すことに躊躇をしなくなった。③ 留学後…以前よりも英語が好きになったし、自分にとって身近なものになった。

留学後はすぐに就活を始めないといけないので、今は日本だけの企業だけではなく海外を拠点にしている企業などにも目を向けるようになった。将来またアメリカへ行きたい、そのために頑張るという気持ちが大きくなった。

帰る頃にはリスニング力がアップしたと感じた

最初は頑張っていました、だんだん疲れてきてしまい、自分が嫌になる時期もありましたが、だんだん話せるようになり、最後の方はとても楽しく学べました。

留学前: 多くの人とつながれたらいいなと思っていました。英語に触れる機会を無駄にしない。 留学中: 自分に自信を無くす時期もありましたが、授業は積極的に！友達と遊ぶ時でもできるだけ話すことを意識していました。 留学後: この経験をこれからの大学生生活に生かす。

日本にいるときは、授業で英語を使うため話さないといけないという義務感がありましたが、留学中は話したいという好奇心と興味が大きく、これがいい影響を与えてくれたのかなと感じます。

留学前は学校外で英語を使うことがないので、モチベーションは低かった。留学中は日常的に英語を使うので、単語や熟語を頑張って覚えるようにしていた。留学後は、英語を使う機会がまた少なくなるので、一時的にモチベーションは下がってしまうが、リスニング能力を落とさないように、なるべく英語を聴くようにしている。

留学前は、英語を話せるようになりたいと強い憧れをもっていました。留学中は、自分の英語が伝わらなかつたり、聞き取ることができなかつたりと何度も英語を話すことに自信がなくなっていました。しかし、帰国後自分の英語の成長に気づくことができたため、これからも維持してもっと上を目指していきたいです。

留学中 100%力を振り絞った瞬間

プレゼンテーションの時です。事前に準備や練習をしカンペを作らずに発表に挑んだ。普段褒められたことがない先生に褒められて報われた。

友達と聖書の物語を読み、そのことについて宗教の違いについてディスカッションしたとき。

英語だけでなく韓国語にも力を入れることができた

海外の友達と遊ぶ時はほんとに集中して聞いて、受け応えてをしていたので、とても力になったと思います。

宗教についての話を友達とした時です。私たちの友達は基本キリスト教の人たちばかりで、毎週水曜日に遊ぶ時には必ず聖書を読む時間がありました。考えを押し付けられたり、教養をされたこともありましたが、自分の考えや意見を伝えることをその時は頑張っていました。

一番は自分から話しかけに行く、発言する瞬間だと思います。アメリカでは、自分からしゃべりに行かないとい家内と友達にはなってくれないことや、何も言わないと自分のアイデアがないとみなされて、話がどんどん進んでいきます。なので、自分から意見を言うことが行く前に比べて積極的になったと思います。

元々は誰にでも友好的な性格ではないが、友達を作るために、自分から声をかけたりして友達を作った。

体調を崩したときに自分一人で病院に行かなければいけないときがありました。英語を話すとは違い、異国の地で今まで自分がしたことがないことをすることにとても勇気がいりました。しかし、自分なりに解決策を考え行動をしたことによって今まで感じたことがない達成感と自信ができました。

留学先大学の良かった点

宿題があまり多くなかったので学外での生活を充実させることができた。先生が全員優しくかった。大学が広いので周りに何もなくても生活できた。

フリーなものが多かったり、イベントが沢山あるので友達を作る機会も楽しめる機会も多かった。

先生が親身

田舎の場所だったので、犯罪や怖いことには全く巻き込まれず、またそれを感じることもなかったのは良かった点であると思います。

すぐく親切な人が多かったです。日本語が通じる方のサポートがありとても生活しやすかったです。

街のみんなが本当に心が広く、コミュニケーションもしやすい雰囲気を出してくれました。先生方も優しく、生徒一人一人、紳士に向き合ってくれました。

寮から教室が近いので通いやすかった。日本語が通じるサポーターがいるので安心。